

# 生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係  
 ☎(83)7021

## 「町民大学」町民の皆さまの学びの場として

開催日の変更などがありました。今年度は、3回の町民大学を開催しました。

### 第1回 「私とスポーツ」

東京国際大学駅伝部総監督 横溝 三郎さん

陸上競技との出会いのエピソードや高校、大学での指導者との出会いなどをお話いただきました。箱根駅伝、オリンピックに出場した経験を持つ横溝さんは、講演の最後に「スポーツを通じた人との出会いに感謝している。」と語られました。

### 第3回 「絵本から『いのちを育む』を考える」

絵本講師 上甲 知子さん

『いのちを育む』をテーマに、本の持つ豊かさや絵本が読者に語りかける力についてお話しいただきました。大人にとっても絵本の魅力を再発見する機会となりました。

### 第5回 「核兵器のない世界に向けて」

長崎大学准教授 中村 桂子さん

核兵器をめぐる現状と課題を自分ごととして捉える大切さをお話しいただきました。世界の核弾頭は、13130発。核弾頭と同数のBB弾を落とす実験を通して、参加者は、核兵器の恐ろしさを感じました。

※第2回・第4回は中止となりました



世界の核兵器の現状を語る中村さん



参加者と絵本の読み聞かせをしている上甲さん



陸上競技について語る横溝さん

## 松田 文化財探訪

### 続・町指定文化財とその周辺 その25

文化財保護委員 鈴木 一行

中尾農道に沿って(十二) 最明寺史跡公園④ 〽施餓鬼会〽

毎年四月十日に施餓鬼会というかたちで最明寺例祭が史跡公園で行われます。この例祭が始まった経緯は、昭和27(1952)年に最明寺住職加藤宥雄師が著した「庶子山最明寺由緒」に詳しい。この筆書きの小冊子は、庶子自治会に保存されていたものです。なお、師は源延の研究者としても知られており、その研究成果は多くの学術論文に引用されています。

治政府が編纂させた『皇国地誌残稿』には「今モ例年四月十日此処ニオイテ施餓鬼供養ヲ執リ行ヒ、近隣ノ男女群衆セリ」とあります。これにより、明治初期にも最明寺(西明寺)跡地で盛大な法要が営まれ、それが近隣の人々の楽しみにもなっていたことがわかります。

さて、同冊子によれば、施餓鬼会は源延の六百年遠忌にあたる文政13(1830)年に最明寺住職実弁が小田原藩主大久保忠真の許可を得て行ったとのこと。松田惣領・松田庶子・金子村の人々が招待され、酒・御飯・餅・菓子振る舞われました。そして、物資の運搬は金子村の人々が行い、山頂の掃除などは宝寿院・宝光院(共に松田庶子の真言宗寺院で、最明寺の末寺)の檀家が行ったと記されています。さらに、明

現在、この例祭は松田町庶子自治会が主催しています。この経緯は不明ですが、今日も最明寺住職を導師とし、般若院・東光院・花蔵院(以上山北町)・保安寺(小田原市)・宝寿院の各住職をお迎えして行われています。

法要は盛土によって周囲より3m程高くなった護摩堂跡で行われます。そこには

「善光寺如来」と刻まれた古い石碑があり、その前に「お善光寺さん」を安置して施餓鬼会は始まるのです。



最明寺跡地での施餓鬼会